

] î0 5r •
KAWASAKI STEEL GIHO
Vol.15 (1983) No.3

ï 'ö#. æ X b _ ° _ | •!•) 5" 2A D š •/i b ¥ V
Quality Control of Sinter Wi

渡辺 実*2 老山 大輔*3 竹原 亜生*4 篠崎 佳二*5 国分 春生*6 佐々木 晃*7

Quality Control of Sinter with New Operational Indexes

Minoru Watanabe, Daisuke Oiyama, Tsuguo Takehara, Keiji Shinozaki, Haruo Kokubu, Akira Sasaki

要旨

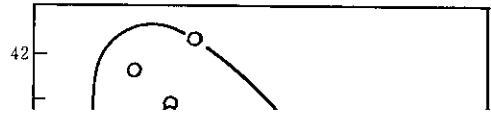
鉄鉄コストの低減策の一つとして、焼結鉱の低 SiO₂、低 FeO 化が行われている。一方、この対策は、最近の減産とともなって、焼結鉱品質（特に還元劣化性の悪化）が低下

Synopsis:

SiO₂ and FeO contents in sinter have been decreased to lower the production cost of pig iron. However, a low production rate of sinter results in deteriorating Reduction Degradation Index (RDI) of sinter. In con-

く、いまだ鉍石銘柄などの原料特性の影響を統一的に把握できるまでに至っていない。

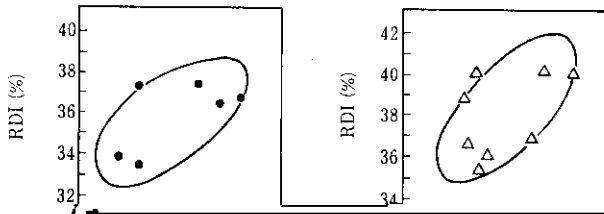
そこで著者らは、代表的な焼結原料鉍石37種について粒度別



40-

H: 層厚

0.0 - 0.1 - 0.2 - 0.3 - 0.4 - 0.5 - 0.6 - 0.7 - 0.8 - 0.9 - 1.0



析結果を待つて RDI 制御を行っていたため、対策の遅れを招くことが多かったが、現在では、Fig. 17 の事例に示したように、迅速かつ適切な処置をとれるようになっている。

以上のように、FFS/Q は焼成条件の RDI に対する影響を説明できるだけでなく、RDI 制御の迅速化にも役立つ。特に、最近の操業においては、焼結鉱製造コスト削減を目的として

9.0 9.5×10⁻⁴ 9 10 11 12 13×10⁻⁴
 FFS/Q (-) FFS/Q (-)

(a) When the amount of free coke is small

(b) When the amount of free coke is large

ボン源が多様化しており、結果的にコークスの量や粒径などの変動を引き起こしている。こうした状況下において、両者の効